

公共事業再評価調査

主管課： 道路建設課

1 事業概要 (整備目的)	事業名： 一般県道 久米島一周線道路改築事業			
	事業種別： 道路改築事業	事業主体： 沖縄県	当初事業期間： H7～H16	
	事業箇所： 久米島町	根拠法令： 道路法	事業期間： H7～H21	
	総事業費(百万円) 4,975	費用内訳： 補助9/10	事業量：L=2.43km W=9.25m,12.5m	
2 再評価 該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業採択後10年間を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業採択後5年間を経過して未着手 <input type="checkbox"/> ③ 再評価後一定期間(年)を経過 <input type="checkbox"/> ④ 事業の中止 <input type="checkbox"/> ⑤ その他()			
3 再評価に 至った要因 (具体的理由)	<input checked="" type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画の長期 <input type="checkbox"/> ⑨ その他()			
4 事業の 進捗状況 (H16.3時点)	項目	事業費(百万円)	整備(km)	用地取得(千㎡)
	計画	4,975	2.43	52
	実施済	2,105	1.00	46
	率	42%	41%	89%
5 事業効果の 評価指標 (検討年40年) (基準年H16) (単位:百万円)	① 走行時間短縮 14,370 ② 走行経費低減 120 ③ 交通事故減少 -16 総便益 14,474 基準年換算(B) 5,994	① 事業費 4,975 ② 維持管理費 280 総費用 5,255 基準年換算(C) 5,102	費用便益比(B/C) = 5994 / 5102 = 1.2	
6 事業を巡る 状況の変化	① 社会・経済： 観光面では、平成9年に拡張整備された久米島空港が供用開始され、平成14年には久米島の東海岸が沖縄振興計画の観光振興地域に指定され、久米島の入域観光客は増加傾向を示している。今年11月下旬には、プロ野球のキャンプ地に決まるなど、今後とも観光客の増加が見込まれている。 産業面では、平成12年に「海洋深層水研究所」が開設し、海洋深層水を活用した製造業の立地など新たな産業が成長し始めている。 このような状況の下、観光道路、産業を支える道路として本事業の必要性が高まっている。 ② 地元・自治体： 平成14年の二村合併による久米島町の「新町建設計画」で事業推進が明記されている。また、平成16年には久米島町より本事業の早期完成を望む要望書が提出されている。 ③ 利害関係者： 用地交渉が一部困難をきたしている。			
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 当該路線は線形が悪く、幅員狭小で安全に問題があるため、地元住民から事業の早期完成が望まれている。特に線形改良のため事業の推進が急務である。 ② 事業の効率性(代替案等の可能性やコスト削減)： 当該計画道路は、現計画での用地取得率が約9割に達していることから、現計画で事業を推進することが効率的である。また、橋梁部の歩道幅員を3.5mから2.0mに縮小し、コストの削減を図る。 ③ 事業効果の発現状況： 現在200mを供用し、拡幅整備された区間において車両交通の安全性が確保され、また、歩道空間が整備されたことから、歩行者の安全性にも効果を発現している。			
8 今後の対応・見通し	① 事業計画等： 地元住民も早期整備を望んでいることから、事業期間内の完成を目指す。 ② 対住民関係： 未買収用地については、期限を定めて用地交渉にあたる。 ③ 執行体制等： 現体制で執行可能である。			
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止			